

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105123
法人名	有限会社 ライフサポート
事業所名	グループホーム「福平」
所在地	鹿児島県鹿児島市下福元町7505番地 (電話) 099-210-8550
自己評価作成日	令和4年10月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年11月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市南の郊外に位置するところにある事業所です。平成18年に開所し16年が経過しました。制度にも変化あり、介護保険サービスも代わっています。コロナ感染予防のため、利用者、家族には、制限した中で会っていただくことに協力いただいております。つらい思いをお願いしています。各ユニットごと室内でできる行事やレクリエーションを行って楽しく過ごしていただけるように努めています。職員も行動制限を行っていますが、経験年数長い職員が多いため、今何をすべきなのか自主的に考え、利用者に合わせて支援が出来ていると思います。ホームの便りを作り、毎月ご家族に様子を知らせています。家族には満足度なども伺い、支援に繁栄させています。利用者の重度化がみられ、施設での看取りをおこなっています。看取りや認知症など定期的な研修、学習会などの開催も少なくなっています。自己学習に向けて課題などを提供し職員の成長にも取り組んでいます。利用者にとって良かったと思われるように楽しく喜んでいただき、笑顔いっぱいのホームをこれからも継続していきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は有料老人ホームや小規模多機能型施設と併設しており、合同防災訓練で通報連携訓練や避難訓練などを行い協力体制を構築している。
- ・アットホームな雰囲気、職員がいつも笑顔で個々の利用者寄り添った介護や対応で、利用者も家族も安心して繋がっている。
- ・口腔ケアは歯間ブラシを3～4本使用する等、口腔衛生に努めている。
- ・代表者・管理者は職員の意見や希望を聞き、意見ノートを作成し、意見を言える環境作りを心がけている。職員の特技をサービス向上に活かしている。
- ・外国人実習生を受け入れ、オリエンテーションや教育・指導により人材育成に努めている。
- ・法人として職員の資格取得のためのサポート体制が有り、取得後は自己研鑽し職員の質向上に繋がっている。
- ・コロナ感染禍において、感染予防の基本を各職員が徹底し、感染拡大防止を図っている。ゾーニングを行い隔離居室の前に必要な物品を準備し利用者のケア支援と各職員も行動制限を行いながらケアに関わっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所の理念を基本として、ユニット独自の理念を作成し、より個別ケアを深められるように実践しています。理念を踏まえた月の目標を立て取り組んでいます。</p>	<p>事業所の基本理念やケア目標をフロアに掲示し、重要事項説明書にも掲載している。理念を申し送りし唱和し毎月のケア目標を月単位で振り返りを行い、協力し合って質を高め実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>感染を考慮しつつ、過去のネットワークを大切にし、新たに取り組む、地域活動などに取り組んでいきたいと考えています。</p>	<p>町内会に加入しているが、コロナ禍で地域行事やホーム行事で、ボランティアの受け入れや体験学習も自粛している。コロナ禍前の地域との交流を大切に今後取り組んでいく計画である。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域との交流は少なくなっていることは残念なことだが、今の環境で貢献できることを検討していきます。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域密着を念頭に関係者方々に参加を促し、意見交換をし、地域の現状知る機会にしたい。令和4年度後半には再開予定で取り組んでいます。</p>	<p>コロナ感染拡大前は利用者の入退所状況やホームの活動報告をしていたが、今年度は書面で利用者と職員のワクチン接種状況、事業所や入居者の現状等を郵送報告し、意見はサービス向上に活かす様に取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>困難事例等には、相談し、意見をいただき参照にしている。また生活保護の方で身元引受けのない方がいるので、担当者に協力をお願いしています。</p>	<p>市担当者とは窓口に出向き書類提出や電話で相談しアドバイスをもらったり、福祉担当者とは常に情報共有し、身元引受けのない方の依頼など、協力関係を築いている。介護相談員の受け入れや市主催の研修はリモートで参加し、職員に伝達している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、拘束をしないための勉強会は、感染対策で各人が資料にて振り返る事にした。</p>	<p>身体拘束廃止に関する指針があり定期的に研修会・勉強会を実施している。具体的な拘束については、その都度意見交換し、不適切な言動についてはその場で指導している。日中の玄関施錠はせず全員で見守り支援し、外出希望者には声かけ、ホールでお茶を飲みながら話を聞いたり、ホーム周辺を一緒に散歩する等の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>威圧を感じるような言動、虐待を疑うようなことは互いに気を付けている。ケアを振り返り、虐待を見逃さない様にしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>入所時に聞き取ったり、状況に変化が起きた時などに、必要ならば第三者を交えて対応を検討する。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に契約書の内容を読み上げながら説明を行っている。退去・利用料・入院などトラブルが予測される事項は、特に詳しい説明を行い、理解、納得出来る様に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの意見を頂きやすいように、面会簿にメモ欄を設けている。面会時には、何でも話せるような雰囲気作りをしている。頂いた意見は職員会議で速やかに取り上げ対応している。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは、フィルム板や窓越し面会時に現在の状況を報告したり、電話で意見や要望を聞く機会を設けている。毎月の便りでも日常の利用者の写真を送付し2～3ヶ月毎に個別の生活状況を報告し、意見を運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員のできる能力を引き出し、意見や提案を出してもらっている。管理者は代表者と連絡を取り運営に関する意見が言えるようにしている。どんな事でも皆で話し合える雰囲気作りに努めている。</p>	<p>代表者や管理者は各ユニット毎に毎月意見や提案を聞く機会を設けている。申し送りやミニカンファレンス、日々の関わりでもその都度、意見を聴き、話し合える雰囲気作りを心がけている。管理者は個別相談にも対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者が職員の勤務状況を把握し、代表者へ報告している。代表者は多方面から、職員個々の状況に気を配り、職場環境や条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者が職員の力量を把握し、代表者へ報告している。コロナ感染症予防のため短時間となったが、法人内の勉強会をして、スキルアップに繋がるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流はないが、同一法人内では、業務のヘルプを通して、サービスの向上に生かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所直後は多くの方が不安でなる事が多く、声掛けなどで不安を最小になるように努めている。生活歴などを共有している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の希望や要求を聞き、出来るだけ添えるように伝え、小さなことでも連絡を取り合い、対応していけるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時、本人にとってどうしたら良いかを本人や家族と相談、いろいろな可能性を話し合い見極めに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で無理なく出来る事を一緒に行う。常に人生の先輩であることを意識し、学び合いながら過ごしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者はもちろんの事、家族の方の相談も傾聴し思いを共有しながら一緒に本人を支えて行けるように努めている。家族には、利用者の様子少しわかるような便りを郵送している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>交流はほとんどなく、面会制限を行っているので、家族とも窓越し、接するのは訪問系の医療関係者となっている。利用者が家族を忘れないように、家族の名前や思い出を話している。</p>	<p>フィルム板を用いての面会や窓越し面会、電話でのコミュニケーション、葉書や手紙の取次を行う等、家族との交流ができる支援に努めている。個別に住み慣れた地域へのドライブや散歩支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者それぞれの性格、認知症の程度等を考慮しながら、座席も配慮し、利用者同士がやさしく楽しく関わり合える生活の場になるように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他施設へ退所された方はおられないが、亡くなられた方についてはお参りをしたり、ご家族からいろいろな相談を気軽にいただける様に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族との会話や生活の中から本人の望む生活が出来る様に見つけ支援する。意思疎通が困難な利用者は、日常の様子を見聞きして、その人らしい暮らしを支援出来る様にしている。	日常の会話の中やお茶の時間・レクリエーションの時に思いや意向の把握に努めている。困難な場合は生活歴を基本に表情やジェスチャー、寄り添ってのひとときの動作等からカンファレンスで話し合い、その人らしい暮らしの支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活歴を聞いたり、日常生活の中での会話や様子等で、情報収集をしている。それまでの生活環境を大事にしたケアに努めている。家族にもその都度聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや意見ノート、ケースカンファレンスによって、一人ひとりの心身の状態を把握し、共有出来る様にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向を確認し、職員全員で一人ひとりの介護計画の評価・見直しについてカンファレンスを行い、本人・家族の希望、要望を反映した介護計画になるように努めている。	本人や家族の意見や要望、主治医や職員のカンファレンスでの意見を取り入れ、身体状況や生活状態に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、6ヶ月で見直し、状況変化時はその都度見直し、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録は、介護計画を頭に入れながら、異変や気づいた事を細かく記録し、職員全員が情報を共有し、会議で討議しながら支援を行っている。毎日の引継ぎを大切にしている。介護計画の内容について、いつでも見れるよう記録簿の表紙裏の貼っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の変化するニーズに合わせ、臨機応変に対応している。また、利用者の体調変化には早めの対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練時に町内会の方も参加をして下さり協力していただけたようにしたが、今またコロナ感染症予防のため交流ができなくなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医を優先し、連携を取りながら支援している。受診時は状況を適切に把握するために「病院受診連絡表」を活用している。事業所側で受診した折には、結果報告を必ず家族に連絡するようにしている。	希望するかかりつけ医や関係医療機関と連携を図り、月2回の訪問診療と家族の希望で職員同伴で受診支援をしている。歯科は近隣の歯科医や連携機関からの訪問診療があり、皮膚科など他科受診は必要時主治医の指示で職員が同伴している。結果は家族へ報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常に看護職員と介護職員は連携をとりながら、少しの変化も見逃さず、体調管理を行っている。看護師には常に連絡が出来る様になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した時は家族から情報を得たり、医療機関より情報を得たりしながら、早期退院できるように取り組んでいる。また、本人・家族の不安を軽減出来る様に話し合いも行うようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に本人、家族の意向を聞いており、その方針は全員共有している。また利用者の状況に応じて職員各人、再確認している。看取りについても以前の事例等で再確認している。</p>	<p>契約時に「重度化した場合に係る指針」と「医師や医療機関との連携体制」について説明、同意を得ている。重度化した場合は段階的に管理者も同席し主治医から家族に説明を行い、家族の意向を確認し、職員で話し合い支援している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>連絡網やマニュアルを事務所の目に付きやすい所に設置している。コロナ感染症予防のため救急蘇生等の実習はできてないが、勉強会で話し合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>今年度は、防災訓練を消防署の立ち合いで行うことができた。安全に避難誘導できるように自主訓練も継続していきたい。</p>	<p>マニュアルを基に、年2回昼夜間想定で防災訓練を実施し、消防署立会で火災想定で関連の3施設の通報連携訓練、避難訓練や消火訓練を実施し総評を得ている。自主訓練ではコンセントの埃確認や地震想定での避難訓練を実施している。防災機器は業者に依頼し年2回点検している。備蓄は水・米・レトルト食品・缶詰・おかし等をホームに3日分あり、カセットコンロ等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日頃から一人ひとりを大切にする、言葉かけなどは、職員個々に気を配り、人格、プライバシーを大切にして対応している。個人情報保護法や取り扱いについても周知している。</p>	<p>ハラスメント委員会があり、法人内研修や内部研修で権利擁護や虐待・言葉遣いについて学習し、必要時はその都度勉強会を実施している。トイレ誘導や排泄・入浴時は羞恥心に配慮し、優しい口調で声を落として支援する等、プライバシーに配慮し、個別に応じて声かけ、対応している。場面に応じて二者択一で自己決定できる支援をしている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の生活の中で、常に本人がどのように生活したいのかを探りつつ、本人の思いを大切に、不安なく心豊かに暮らせる様、家族の思いも尊重しつつ支援している。</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ある程度の日課はあるが、本人のペースに合わせた声掛けを行い本人の希望を大切に支援している。</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>家族からの情報や本人の様子を確認して、本人が心地よい生活ができる様にしています。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を確認し、好物を食べていただくように工夫したり、旬の物や、行事食等その時その時を大切に美味しく楽しく食事が出来る様に努めている。	職員が利用者の意見を取り入れ献立を作成し調理している。食形態は、普通食や刻み・ミキサー食等、個別で提供し、アレルギーがある場合は代替食で対応している。行事食等は、そば切りやおせち料理・誕生日は赤飯・ケーキ・おやつは手作りのふくれ菓子やかるかん饅頭等、楽しく食べれるように支援し片付けは利用者の能力に応じて一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態、嗜好、摂取状況に合わせ、食事量と水分量を把握し提供している。水分不足になりがちな利用者へは工夫して摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの状況に応じて声掛けやセッティング、仕上げ磨きをおこなっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄のパターン周期を把握し、適切に声掛け介助することにより、排泄の失敗やオムツの使用が少なくなるような支援している。	排泄チェック表を基に、それぞれの時間帯に、仕草やそわそわ・怒りっぽくなる等のパターンを把握し、排泄支援している。排泄用品は布パンツ・リハビリパンツ・パット等、利用者に応じて調整している。夜間ポータブル使用者もいる。オムツ交換の時間帯を考慮し熟睡に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の食事でも繊維性の食物を多く摂取する工夫している。排便周期のチェック、水分、散歩、腹部マッサージ等随時行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	事業所の時間帯にはなっているが、入浴希望は伺い、楽しく、ゆっくり入れるように取り組んでいる。	基本は週2～3回の午前中の支援であるが、希望があれば毎日の入浴でも可能である。同性介助でも対応している。排泄での汚染時はその都度清潔保持に努めている。入浴拒否の時は、時間帯の調整や声掛けの工夫、職員交代等で支援している。翌日の支援もある。毎日の陰部洗浄、全身清拭等の支援も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠時にはホットミルクを飲んでもらったり、ゆっくり話をしたりして安心して休息、眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局で個別にセットしてもらい、間違いのないようにしている。職員は薬の目的や副作用、用法について理解している。与薬については必ず2人で確認するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の単純な作業等で一人ひとりに出来ることや得意なことを分担し、役割や自信を持って生活出来るように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>事業所の庭が広く、外の陽や風に触れることが出来るよう散歩や日光浴をしている。コロナ感染症予防のため外出の支援は見合わせている。</p>	<p>年間計画を作成しているがコロナ禍にあり、事業所の庭での散歩で外気浴や日光浴をしている。個別に近隣の住み慣れた地域へ出かけたり、庭での花見を楽しんでいる。ホーム内だけの運動会を開催し、玉入れなど、利用者が楽しめるよう工夫している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>コロナ感染症予防のため、一緒に買い物など行けていない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や大切な人に電話連絡をしたい時は、電話ができるように支援している。届け物があった折には、必ず電話し本人にもお話をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>皆様が集まるホールでは季節の飾り物を作ったり置いたり、音楽、テレビもゆっくり見られるようにしている。温度、湿度についても気をつけて居心地の良い空間作りに努めている。</p>	<p>玄関には季節の花や果物を飾り、職員紹介をしている。ホールは空気清浄機や加湿器を設置し定期的に換気をしている。採光はカーテンで調整し、温湿度計があり、エアコンで調整している。壁には職員と利用者合作の季節のはり絵を飾り、利用者の作品も掲示している。ホッとする和室もある。対面式キッチンは見守り支援に繋がっている。テレビや音楽を聴いて、それぞれがゆったりと過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間でもテーブル、座席の配慮や和室の設置でゆっくりとお話を聞いたりして思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室には、ベッド、タンス備え付けてあり、自宅から馴染みの身の回り品等持ち込まれ、安心して過ごせる環境整備を行っている。また利用者の状態に合わせて危険のないような配置にその都度変更している。</p>	<p>居室は電動と固定タイプのベッドがあり、身体状況で調整し、タンス・エアコン・クローゼットが設置している。寝具類は持ち込みで、テレビ・仏壇・位牌・遺影・クリアケース・ぬいぐるみ・家族写真等、家族を忘れないような環境を工夫して、居心地よく過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各箇所手すりが設置されており、全ての扉は引き戸で無理なく開閉出来るようになっている。トイレには目印をつけたり、夜間でも自由に移動出来る様にしている。移動に気付いたら見守るようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない